南阿蘇村立南阿蘇中学校　学校だより

ハーモニー

Since2016

校訓 南 Mission 使命 阿 Action 行動 蘇 Sense 感性

R3. 3. 19(金) No.51 小柳 弘志

第５回南阿蘇中学校卒業式

３月１３日(土)に行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、１．２年生は送辞を言う２年生の瀬川(せがわ)　紬(つむぎ)さんだけの参加にしました。しかし、今までお世話になった先輩に思いを伝えようと、一人ひとりメッセージを書きました。また、クラス全体で「卒業おめでとう」メッセージを撮りました。それを古賀先生が中心となり先生方で編集し、卒業式で見ました。参加した方々から「感動しました」という声を聞きました。ありがとうございました。瀬川さんの送辞と卒業生の金瀬(かなせ) 拓海(たくみ)さんの答辞を載せています。

送辞 抜粋

先輩方との学校生活を振り返ってみると、いつも私たちの先頭に立ち、引っ張ってくださった姿が思い出されます。生徒昇降口前であいさつ運動では先輩方の笑顔あふれるあいさつが私たちを朝から元気にしてくださいました。

体育大会では、短い練習期間の中で、「唯一無二～南中生に成し遂げられないことはない～」のスローガンのもと、団長を中心に団員をまとめてくださいました。率先して声を出し、行動されていた先輩方の姿は、とてもかっこよかったです。また、ダンス練習では、私たちができるようになるまで丁寧に教えてくださいました。そして本番では、体育大会を成功させようと、競技はもちろん、応援も一生懸命にされていました。そんな先輩方の姿に私たちは安心してついていくことができ、コロナ渦の中でしたが、生徒全員が熱い絆で結ばれた「唯一無二」の体育大会になりました。

合唱コンクールでは、それぞれのパートがまとまり、深みのある美しいハーモニーが体育館に響きわたっていました。二週間という練習時間の短かささえも感じさせない先輩方の素晴らしい歌声は、今でも鮮明に思い出されます。

部活動では自分たちのことだけでなく、後輩の私たちのことまで常に気にかけてくださいました。分からないことがあったときには、「こうしたら良いよ。」と優しくアドバイスをしてくださいました。先輩方のおかげで部員全員が切磋琢磨して成長できる良い雰囲気の部活動ができました。

しかしコロナウイルスの影響で中体連やコンクールがなくなり、代替大会やフェスティバルという形になってしまいました。目標を失い一番辛かったのは、きっと先輩方だと思います。しかし、先輩方はあきらめず一生懸命代替大会やフェスティバルに向けて練習に励んでおられました。そんな何事にも全力で取り組まれていた姿に、私たちは何度も心を動かされました。先輩方とともに部活動ができたことをとても誇りに思います。

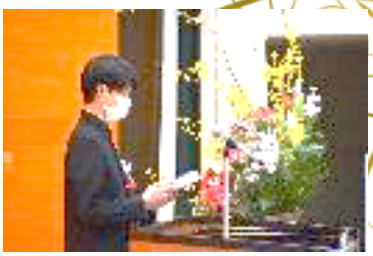
先輩方と過ごした学校生活はあっという間でしたが、先輩方から学んだことがたくさんあります。ここまで私たちが成長することができたのは先輩方のおかげだと思います。ありがとうございました。先輩方が教え、残してくださったものを、今度は私たちが受け継いでいきます。

これから新しい未来へと歩まれる先輩方、時には大きな壁に直面し、立ち止まってしまうこともあると思います。しかしそんなときには一度、後ろを振り返ってみてください。そこには南阿蘇中学校でのたくさんの思い出があります。そして、何よりも熱い絆で結ばれた仲間たちがいます。それはきっと先輩方の力になると思います。その力を糧に、どんな大きな壁も乗り越えていってください。

今日は在校生全員で見送ることはできませんが、熱い絆で結ばれた生徒一同、みなさんを応援しています。最後となりましたが、先輩方のますますのご活躍とご健勝をお祈りし、在校生を代表して送辞とさせていただきます。

令和3年3月13日　在校生代表　瀬川　紬

答辞 抜粋



校舎の窓から見える山々の峰の雪も溶け始め、私たち69名は、春の訪れとともに、新たな一歩を歩みだそうとしています。三年前の入学式。新しい友達、新しい制服、新しい環境。全てが新しく、中学校生活への期待で胸がいっぱいでした。そんな中、始まった学校生活。今では話せる友達に、初めはなかなか話しかけることができませんでした。そんなとき、みんなが話しかけてくれたおかげでとても仲良くなり、楽しい毎日を過ごすことができました。　～中略～

そして、三年生。休校が続き、本格的に学校がスタートしたのは、6月でした。生徒会スローガンの「熱結」のもとに、仲間と団結し、熱意を持って、様々なことに取り組みました。特に、今年の体育大会は、忘れられない行事になりました。コロナ禍の感染症対策で様々なことが制限されている中で、最高学年として、どのようにしたらうまく集団を動かすことができるのか、たくさん悩みました。そんなときも、三年生や執行部の仲間がともに悩み、ともに取り組んでくれて本当に嬉しかったし、心強かったです。先輩方から引き継がれている全校応援。今年も熊本地震から復興してきているふるさと、南阿蘇村を私たち中学生の力でさらに元気にしていきたい、世界中の人々にも元気や希望を与えたいという思いで、全校応援を作り上げました。生徒一人一人が輝くことができた「唯一無二」の最高の体育大会になりました。体育大会を開催することができたのは、先生方、家族、地域の方々が応援してくださったおかげです。本当にありがとうございました。

在校生の皆さん、これまで私たち三年生を支えてくれてありがとう。頼りない私たちだったと思いますが最後までついてきてくれて、とても嬉しかったです。在校生のみなさんなら、これからの南阿蘇中学校をさらに素晴らしい学校にしてくれると期待しています。

いつも私たちのことを第一に考えてくださった先生方。学習で分からないことがあると丁寧に教えてくださいました。また、私が落ち込んだり、悩んでいたりしたときには優しく励ましていただきました。三年間の学校生活を前向きな気持ちで送ることができました。時には、先生方に叱られたこともありました。そのおかげで、私は周りに迷惑をかけていたことに気づき、それから周りの人の気持ちを考えて行動しようと心がけました。私たちを思って叱ってくださる先生方の厳しさは、今の私たちの成長につながっています。先生方の思いを心に留めながら、立派な大人になれるように頑張ります。

私たちを一番近くで見守り、応援してくださった両親、仕事でどんなに忙しくても、私の夢や目標の実現のために、「やりたいことをやりなさい」と言ってくれたお父さん。背中を押してくれてありがとう。これまで、たくさんわがままを言ったり、迷惑をかけたりしてしまいました。しかし、私が悩んでいるときや辛いときには、「今できることをしっかりしていこう」と言ってくれたお母さん。いつも前向きな言葉をかけてくれてありがとう。これから先も、まだまだお世話になりますが、私からも家族へ恩返しをしていきたいと思います。そして、尊敬する両親のように、誰かのために頑張れる人になりたいです。

最後に、三年間一緒に過ごしてきた仲間。私たち三年生は、一人一人がとても思いやりの心を持っている人たちばかりです。何かに頑張ろうとしている人がいたら、三年生全員が頑張ってくれました。困っているとき、すぐに気づいて助けてくれました。私はみんなから、絆の大切さを教えてもらいました。三年生になってすぐに、友達と会えない日々が続きました。学校が再開し、みんなと会えたときは、とっても嬉しかったです。休み時間のバレーボール、たわいもない楽しい会話、みんなで食べた給食。何気ない日常一つ一つが大切な思い出です。卒業式を迎えた今だからこそ、みんなと笑い、ともに学べることがどんなに貴重で幸せなことであるかを実感しています。

これから、私たちはそれぞれの道を歩むことになります。ここにいる卒業生全員がこの先も輝けるように、頑張って前に進んでいきましょう。時には、遊んだり、連絡を取り合ったりしながら、これからも支え合っていきたいです。

とうとう南阿蘇中学校を旅立つときがきました。南阿蘇中学校で出会った仲間や学んだことを胸に、どんなことも乗り越えていきます。私たちに関わってくださった全ての方に、改めて感謝の気持ちを述べるとともに、南阿蘇中学校のますますのご発展をお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

令和三年三月十三日　卒業生代表　金瀬招海